

生き直し通信

総合学習向け
スタディツアー
(日本工業大学
駒場高等学校)
の写真



※高校生にとって出所者の問題や社会問題を少しでも考えるきっかけに。



※ゴールデン街の歴史を語らせて頂きました。

現在までに11名の 刑余者の受け入れ

一般社団法人生き直しでは、自立準備ホーム生き直しへ入居した方々の支援を行っております。

皆さまから頂いた会費を使い、備品や食料（お米等）を購入する代金にさせていただきます。

そして今後の女性施設開設に向けての支度金とさせていただきます。

現在、所沢で一軒家を借りる手続きをしており、5月に引き渡しがあり、自立準備ホーム設置に向けて動いております。

令和元年7月

発行：(一社)生き直し

会員数：47名

寄付支援者数：49名

*単発寄付や物資等

自立準備ホームとは

自立準備ホームは、あらかじめ保護観察所に登録された NPO 法人、社会福祉法人などが管理する施設の空室等を活用し、行先のない刑余者の帰住先・定住先を確保するための「緊急的住居確保・自立支援対策」として 2011 年度から開始された更生保護分野の制度。*平成30年4月時点で登録事業者数が395。2万人以上の出所者がいて利用者はたったの1500人という現状。





月に4~10通(刑務所内での態度で送れる枚数が変動)

誰でも何通でも送れる



先日に小菅にある東京拘置所に行き、出所後に生き直しに来る可能性がある方と面談をした。ただ、刑務所に入ってからどうやって外部と連絡を取るかについて考察してみました。

受刑者はは どうやって外部と連絡をとる?

面会についても制限がある。



ワシの舎弟と面会したいんじゃないが!

知人に連絡したいのですが、どうしたらいいですか?

基本的に親族か受刑者の更生改善につながる人でなければ面会はダメです。

手紙なら送れます。月に送れる回数は決まっていますが。

受刑者にとって救世主! スマートレター!

受刑者はお金をそこまでもっていきなかつたり、先ほどのとおり、手紙の回数まで制限されています。そこで、お金をあまり使わずにしかもある程度の分量を伝えるために

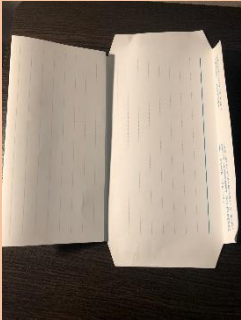
「スマートレター(郵便書簡)」

という62円でハガキと同じ値段なのに文章を書いて送れるという優れたものを使っています。

受刑者の方と連絡を取るまでこんなものがあるなんて全く知りませんでしたが、すごい便利なものです。

ちなみに郵便局で「スマートレターください」というと普通に買えます。

使う人が受刑者の人が多いので、そのスジの人か?なんて思われたり?



○刑務所に入っていると外部との連絡手段は手紙! 上記の図のように刑務所内に入っている場合、外部との連絡手段は主に手紙がメインとなります。ただ、手紙を送るにも本人の刑務所内での態度が重要となってきたり、言うことを聞かない人は月に4通しか送れないようになってしまったりしてしまいます。外国の映画だと刑務所内から外部に電話なんてシーンがありますが、日本では電話はできないことになっています。その他、外部との接触するには、面会という制度もあります。外部と基本的には、親族のみとなっていて、本人が刑務所を出た後、更生のため必要であれば、例えは出た後に住み込みの仕事をさせようという企業さんだったり、更生改善の準備のために必要な人、たとえば施設の職員や自立準備ホームの職員のように出たあとの住まいの提供をしている事業の人しか会えないようになって住ます。なので、手紙1枚で思いを伝える必要が出てきて、刑務所内で過ごす年月が長いと、「字が綺麗になる」と言われております。実際にみんな綺麗な字になるそう。

ワシにも仮釈放認めんかい! ボケが!!!

Mini Column ①

~仮釈放をもらえる受刑者とは~

○仮釈放をもらえるのはエリート受刑者!

仮釈放とは刑期満了前に一定の条件のもと社会生活が許されることを言います。

例えば3年の懲役の人が2年6か月で刑務所から出ることができるというもので、4か月間については条件付きで仮に釈放が許されます。

どのような人が仮釈放がもらえるかというと、まずは刑務所内でものすごくいい子にしていた=刑務官の言うことをしっかり守って過ごしていることが条件となります。

そのうえで、居住地(住まい)が確保されていて、その場所が更生に適した場所かどうかということ調査されて、大丈夫だと判断されて初めて仮釈放が認められます。

なので「仮釈放」=「刑の執行中」なので、「怖い」と思う人もいますが、実は、刑務所内での厳格なルールを守れるエリートしかいないので、意外と普通の人が多いという印象です。出てからも保護司の先生との面談も義務付けられています。

で、満期で出てきた人は、ルールを守れない人が多いので、出てきてもルールを守れない人が多数。

ちなみに生き直しでは満期の人が多いので、いわゆるもがな(笑)



現在までに11名の刑余者が！

Mini Column② 再犯率より高いもの！

再犯率が約50%と高水準をずっと続けている中で、出所者にとって、もっと高い確率でやっていることがある。それは、「タバコ」
8割以上の出所者が出てからタバコを吸うという現状。

出てきてからお金がないのであれば、タバコは控えたほうが良いとも思うが、必ずタバコを吸う。

せっかく刑務所で吸わなかったのだから、そのまま禁煙すればいいじゃないかと思うが単純には考えられない問題が潜んでいそう。



埼玉に女性専用の 自立準備ホームを！

ある方の助力で、埼玉で一軒家を借りることができました。ここで新たに女性の施設を運営しようと動きだしております。

今現在は、保護観察所に申請をしている段階です。

なので、申請が通り次第、7月中旬から下旬にオープンできればと考えております。

一人でも生き直しが難しい女性を更生すべく頑張っていこうと考えておりますので、引き続きのご支援ご協力をお願いいたします。



皆さまの
ご支援ご協力
お待ちしております

- 自立準備ホーム生き直しでは、左記のものの寄付を募集しております。
- ① 賛助会員（寄付）
 - ② お米や家に余っている食材等
 - ③ 出所後、六か月以内の出所者
 - ④ 家（1ルームでも可）



生き直し 代表
千葉龍一

女性の施設設置に向けて！

『生き直し』では、出所した男性向けの施設を運営してまいりましたが、新たに自殺率の高い出所女性を救うべく施設構築に向けて動きだしております。

安定した運営のため月額500円の寄付からあなたも一緒に「生き直せる社会の構築」に貢献してみませんか？

